

平成28年9月13日
愛媛大学

愛媛新聞社提供講座を開講

愛媛大学では、このたび、「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の一環として、愛媛新聞社様のご協力を得て、大学生の県内企業への理解と就職を喚起していくキャリア教育科目を開講します。

講座では、マスコミ業界の現役社会人による情報産業の実践論を学ぶ講義や、ベテラン記者とのクロストークなどを行います。学生の地元（県内）定着を促進するとともに、コミュニケーション能力や人に言いたいことを瞬時にまとめる能力などの育成を授業目標としています。

つきましては、取材いただき、地域へ広く周知いただきますようお願いいたします。
授業の詳細は、別添のシラバスをご参照ください。

地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）とは

日本社会は少子高齢化に伴う人口減少社会に突入しています。特に、地方と呼ばれる地域の人口減少は深刻な社会問題になっています。そのため、政府も様々な地方創生に関わる政策対応を行っています。その文部科学省版といえるのが「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」です。

このCOC+は、「大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる『ひと』の地方への集積を目的」（文部科学省ウェブサイトより引用）としたものです。高等教育を通じた地方創生事業ということが出来ます。

愛媛大学は、今治明德短期大学、聖カタリナ大学、聖カタリナ大学短期大学部、松山東雲女子大学、松山東雲短期大学と共同で平成27年度に「地（知）の拠点大学」に選定されました。

講座スケジュール

10月5日(水)3時限目	オリエンテーション、仕事に役立つ新聞
10月12日(水)3時限目	新聞の存在意義
10月19日(水)3時限目	新聞の読み方と活用法
10月26日(水)3時限目	新聞の電子媒体の現状と今後
11月2日(水)3時限目	ニュースの取り方と書き方
11月9日(水)3時限目	新聞で見る「愛媛の歴史（近現代史）」
11月16日(水)3時限目	新たな情報ビジネスの開発
11月30日(水)3時限目	調査報道とは

※送付資料2枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学教育・学生支援機構

担当教員 平尾 智隆

Tel 089-927-8116

hirao@ehime-u.ac.jp

開講年度	開講学期	開講学部等	
2016	後学期	共通教育	
科目ナンバリング	時間割番号	科目名[英文名]	
GnE1C-0CAT-013	C0637	社会学入門 Introduction to Sociology	
担当教員[ローマ字表記]			単位数
平尾 智隆, 谷川 哲也 [HIRAO Tomotaka, Tanigawa Tetsuya]			1
授業科目区分	教養科目 学問分野別科目	対象学生	全学部一回生以上 対象年次
			1~9

授業題目

新聞から学ぶ情報収集・伝達の方法(journalism):愛媛新聞社提供講座

授業のキーワード

民主主義(democracy), 歴史(history), 新聞(newspaper), コミュニケーション能力(communication ability)

授業の目的

この授業は、愛媛大学と愛媛新聞社が連携して行う愛媛大学生のためのキャリア教育です。

就職すれば少なからず人と接し、報告書などの書類を書かなくてはなりません。新聞社の記者や営業マンは日々、ニュースソース(取材源)やクライアント(広告主)と接し人間関係を築いています。どの職業に就いても相手と良好な関係を構築できる能力が高い人ほど仕事もスムーズにできると言っても過言ではありません。会話の入り口となる各種情報や愛媛の歴史を新聞から学び、コミュニケーション能力を身に付けていきます。

さらに、文章の書き方をプロから教わり、書類を手早く分かりやすく仕上げる能力や文章の読解力を高めていきます。

前段として民主主義国家を支える新聞の使命、存在意義も理解していきます。

授業の到達目標

- 1 入社試験の面接官が重視する「コミュニケーション能力」の高め方が分かる。
- 2 人に言いたいことを瞬時にまとめる力が付く。
- 3 情報産業に関する新たなビジネスモデルを考え、就職後の即戦力化を図る。
- 4 氾濫する情報から必要な情報を選択する仕方が身に付く。
- 5 日本が国民主権であることを再認識できる。

ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標)/ 共通教育の理念・教育方針に関わる項目

自らの個性や適性に基づき学び続ける基本姿勢(基本姿勢)
多様な人と協働するための表現力やコミュニケーション力(基本的コミュニケーション力)

愛媛大学学生として期待される能力(愛大学生コンピテンシー)に関わる項目

習得した知識や技能を基に自分の考えを組み立て、適切に表現(記述・口述)できる
様々な状況に応じて適切な対話・討論ができる
目的達成のために多様な人と協働できる
集団・組織の一員として自覚と誇りをもって行動できる

授業概要

マスコミの最前線で働く社会人が講師となり、教科書や就活本では学べない情報産業の実践論を講義形式で学びます。将来、地元で働く学生を意識し、新聞で見る「愛媛の近現代史」も学びます。

新聞の使命を理解し、意外と知られていない読み方も習います。就職活動に役立つ文章の書き方はもちろん、就職先で即座に使える良好な対人関係の構築法も学びます。

ベテラン記者とのクロストークを行い、報道機関の舞台裏を知ることができます。

授業スケジュール

1. オリエンテーション、仕事に役立つ新聞
2. 新聞の存在意義
3. 新聞の読み方と活用法
4. 新聞の電子媒体の現状と今後
5. ニュースの取り方と書き方

6. 新聞で見る「愛媛の歴史(近現代史)」
7. 新たな情報ビジネスの開発
8. 調査報道とは

授業時間外学習にかかわる情報

ミニレポート等が課されるので、相応の時間外学習を要します。

成績評価方法

ミニレポート、講師への質問内容、クロストークの発言内容を総合的に判断します。
(授業毎にMoodleを通した課題提出を行う必要があります。)

受講条件

受講のルール

教室のルールではなく、職場のルールを念頭に受講してください。遅刻、欠席、受講態度、人との関わりなどなど、学校の常識ではなく社会の常識を求めます。

教科書(購入の必要のある図書)

教科書1	書名	—			ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

参考書(購入する必要はないが、推奨する図書)

参考書1	書名	—			ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

教科書・参考書に関する補足情報

教科書、参考書等の必要な教材は必要なときに配布します。

オフィスアワー

木曜日11:50-12:40(開講期間中)

Eメールアドレス

hirao.tomotaka.mh@ehime-u.ac.jp

連絡先

愛大ミュージズ3階306研究室

参照ホームページ

愛媛新聞社 <http://www.ehime-np.co.jp/>

その他

この授業は、愛媛新聞社による提供講座です。